



2015年9月号 (No.408)

医療生協

宮崎医療生活協同組合
宮崎市大島町天神前1175-3
発行 機関紙編集委員会

おげんきですか

宮崎生協病院 (0985)24-6877 FAX 29-4839
和知川原生協クリニック (0985)23-0050 FAX 23-0303
このはな生協クリニック (0985)58-1222 FAX 58-3110
おつか生協クリニック (0985)52-6715 FAX 51-9004
生協クリニックのべおか (0982)26-7100 FAX 26-7101
訪問看護ステーションれいんぼう (0985)23-7728 FAX 24-0515
訪問看護ステーションそれいゆ (0982)31-1442 FAX 31-1452
生協ホームヘルプサービスれいんぼう (0985)62-1384 FAX 24-0515
生協ホームヘルプサービスそれいゆ (0985)24-8538 FAX 24-0515
居宅介護支援事業所宮崎生協病院 (0985)24-6545 FAX 29-4839
生協ホームヘルプサービスれいんぼう (0982)26-2536 FAX 31-1452
宮崎医療生活協同組合 (0985)23-7168 FAX 26-1944
http://www1.ocn.ne.jp/~mcoop/

秋の医療生協強化月間はじまる～医療生協を広げ 平和を、いのちをつなごう～



医療生協の魅力地域に広げ、班会やレクリエーションなどを通して医療生協の仲間を増やしましょう。

「消費生活協同組合法」は1984年に成立し、同年10月1日に施行されました。これを記念して日本医療福祉生協連では、10月・11月は生協を定める強化月間として位置づけ活動に取り組んでいます。今年も健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。医療生協の魅力を地域に広げましょう。

8月8日夕方から響座ジュニア和太鼓ではじまった。おまつか生協クリニックまつり、園児のマーチングや日舞、バンド演奏など組合員さんのご協力で300名を超える来場者で賑わいました。天候にも恵まれカレールや焼き鳥は完売、焼きそばなどの出店も好評で、ゲームや抽選会でも楽しいまつりは盛り上がりまじり。運営にご協力いただいた出演者ならびに組合員のみならず

7月15日、国富綾支部は高岡温泉「やすらぎの郷」でバスハイクを行いました。何回かやったといえ、たつた1回の運営委員会での打ち合わせで良くやるわーというのが率直な感想です。グラウンドゴルフ場の未整備でちよつともたつきました。の後は順調に。温泉に入ったあと会席料理に舌つづみをうちながら、医療生協職員から「戦争法案」と「小顔エクササイズ」のメニュー。さらに演歌にのせての体操や室内でできるスカットボールなど多彩な内容でした。26名

の参加で2人の方が医療生協の組合員に加入していただきました。みなさん満足していただけたかな?「料理がおいしかった」「また来たい」など好評でした。(国富綾支部長 飯尾博)

長雨の梅雨が明けると熱中症記録の日本列島、猛暑は払拭できないまでも国民の安全と平和を守る運動が安全と平和から5月をはじめ4月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月と続きます。衆議院では、国民の理解は進んでいないと首相は認めています。参議院では、強行可決、佐官は戦争法案に関係なく「法の安定性は関係ない」と立憲主義を否定する発言をしましたが、アメリカ頼みの従属外交が国会軽視となり、国家安全保障、大企業だけが恩恵を受けるTPP、雇用制度の改定で差別と格差の拡大、要求と再稼働、国民の要求と走っています。このような中で「安倍やマクロの世論は全国で広がっています。老若男女、高校生まで集会やデモに参加しています。戦後70年の原水爆禁止世界大会と日本母親大会は平和と民主主義の屋台骨となつて運動を支えています。一人はみんなのために、みんなは一人のために、国民連、医療生協も全国で奮闘しています。宮崎では毎金曜日橋通りで18時から戦争法反対集会、18時から県庁前で憲法と九条を守り、日本国に引き継ぐ正念場です。(K.V.)

「消費生活協同組合法」は1984年に成立し、同年10月1日に施行されました。これを記念して日本医療福祉生協連では、10月・11月は生協を定める強化月間として位置づけ活動に取り組んでいます。今年も健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。医療生協の魅力を地域に広げましょう。(写真は昨年のもので)

今年も塩分チェックコンテストを開催
健康づくりのひとつ、減塩を意識づける取り組みとして今年も班会で測定した尿中塩分量チェックの数値で塩分摂取の優秀班を表彰します。班員全員の塩分量が6g以下にチャレンジしましょう。

宮崎医療生協月間中の主な取り組み
9月3日(木) 組合員のつどい(宮崎地区)
9月9日(水) 風船ピースアクション(病院・各クリニック)
9月11日(金) 組合員のつどい(東北地区)
9月30日(水) 組合員のつどい(都北地区)
10月1日(木) 医療生協全国統一行動日
10月17日(土) 医療生協健康ウォーキング(平和台)
11月2日(月) 虹の架け橋統一行動日
11月8日(日) 宮崎生協病院「健康まつり」
11月21日(土) 生協いきいき健康ウォーク(綾町)

体温計
長雨の梅雨が明けると熱中症記録の日本列島、猛暑は払拭できないまでも国民の安全と平和を守る運動が安全と平和から5月をはじめ4月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月と続きます。衆議院では、国民の理解は進んでいないと首相は認めています。参議院では、強行可決、佐官は戦争法案に関係なく「法の安定性は関係ない」と立憲主義を否定する発言をしましたが、アメリカ頼みの従属外交が国会軽視となり、国家安全保障、大企業だけが恩恵を受けるTPP、雇用制度の改定で差別と格差の拡大、要求と再稼働、国民の要求と走っています。このような中で「安倍やマクロの世論は全国で広がっています。老若男女、高校生まで集会やデモに参加しています。戦後70年の原水爆禁止世界大会と日本母親大会は平和と民主主義の屋台骨となつて運動を支えています。一人はみんなのために、みんなは一人のために、国民連、医療生協も全国で奮闘しています。宮崎では毎金曜日橋通りで18時から戦争法反対集会、18時から県庁前で憲法と九条を守り、日本国に引き継ぐ正念場です。(K.V.)

クイズの答えはEメールでも受け付けております。 「おげんきですか」へのご意見・感想をお寄せください。 Eメール:mcoop1030@ray.ocn.ne.jp

生協クイズ (No.135)
1 サザエさん
2 巨人の星
3 ベルサイユのばら
4 はだしのゲン
5 仙人部落
6 フクちゃん
7 のらくろ
8 ドラえもん
9 鉄腕アトム
10 天才バカボン
(応募方法)
(送り先)
(お月号の答え)

9月の診療案内
遠藤・高田・中島徹(循環器内科)、古谷(消化器内科)、高橋聡・永友(呼吸器内科)、植野(糖尿病内科)、三宅(内科)、高橋麻里子(内科・リハビリ)、山岡・中島努・末岡(外科・肛門外科)、山元・上野・愛甲・久保(小児科)、坂口・上山(後期研修医)、井上・松尾・木脇(初期研修医)

Table with columns for Hospital Name, Department, and Schedule. Includes sections for 宮崎生協病院 and おおつか生協クリニック.

●1月から土曜日夜間の一般内科外来は休診になりました。

和知川原生協クリニック
宮崎市和知川原2丁目25-1 ☎0985(23)0050
診療時間: 午前 8:30~12:30, 午後 14:30~16:30, 夜間 17:00~19:00

このはな生協クリニック
宮崎市大字熊野1613 ☎0985(58)1222
診療時間: 午前 8:45~12:30, 午後 15:00~18:00

生協クリニックのべおか
延岡市浜砂1丁目5-17 ☎0982(26)7100
診療時間: 午前 9:00~12:30, 午後 15:00~17:30

在宅総合ステーション れいんぼう
宮崎市和知川原2丁目25-1 (れいんぼう会館内)
・居宅介護支援事業所 ☎0985(24)8538
・訪問看護ステーション ☎0985(23)7728
・ホームヘルプサービス ☎0985(62)1384

在宅総合ステーション それいゆ
延岡市浜砂1丁目5番6号
・居宅介護支援事業所 ☎0982(31)1453
・訪問看護ステーション ☎0982(31)1442
・ホームヘルプサービス ☎0982(26)2536

◎介護保険の申請や相談については上記の居宅介護支援事業所にお問い合わせ下さい。

みんなの家
宮崎市大島町国草142-2 TEL 0985-75-0700
ぎおんの家
宮崎市祇園3丁目195番地 TEL 0985-61-7720
おおつかの家
宮崎市大塚町西ノ後3435番地1 TEL 0985-55-0025

戦後70年、平和の願いを込めて

広島と長崎で「原水爆禁止世界大会」

〔広島〕

〔長崎〕



スズ一手をする松尾医師

8月4日から6日に宮崎生協病院の若手職員を中心に8名(医師3、看護師2、事務3)で参加しました。被爆70年を迎えた今回確認されたこととして「核兵器の非人道性は世界の共通認識となっており、核兵器廃絶が世界規模で求められている事、日本は唯一の被爆国としてその取り組みの先頭に立つべきである」という事でした。閉会集会では、全日本医師会を代表して、1年目研修医の松尾裕樹医師がスピーチを行いました。「医療者として現場で人の命の輝きと大切さに触れ、それを一瞬で奪ってしまう核兵器には強く反対したい」、「世界中の皆さんと手を合わせて戦争の無い、平和な世界をつくりましょう」と呼びかける5000人を超える参加者から割れんばかりの拍手が送られました。

(宮崎民医連 宮田宗三)



原爆の子の像をまえに

戦後70年、被爆70年という節目の年に、このような貴重な体験をする事ができ、一人の人間として日本国民として大切な事を学ぶ事ができたと思います。私が思っていたよりもはるかに辛い現実を原爆は被爆者の方に突き付けていました。核兵器は、その瞬間だけでなく、時を超えて多くの人々の夢や将来を奪う悲惨なものだと思います。人間が人間らしくあるためにも、国が一つとなつて戦争を繰り返さないよう訴えかけ続けていかなければならないと思えました。

(看護師 長友亜衣)



宮崎からの参加者

2日目、分科会は「核兵器と原発」に私は参加。安齋育郎氏による「脱原発運動の現状と課題」講演の中で、「原発誘致のターゲットは一番に経済的に弱く政治基盤が強い地方になる。最も有力視しなければならぬ地形、地盤は二の次で、経済最優先で国民の、否日本の国の幸せは微塵も考えてはいない。それが自民党安倍の政治である。政府は一、隠すな。二、過小評価するな。三、嘘をつくな。国民はしっかりと目と耳で社会の動きにアンテナを張ろう」ということを改めて心に刻んだ。3日目は初日を超す6000人が集う。11時2分全員で黙とう。ノーモア広島、ノーモア長崎、ノーモア被爆者、声高らかに叫ぼう。最後に宮崎参加の3人の子供達に外国から参加された方々に手作りの折り紙をさりげなく直接渡していた。子供が果たしてくれたのである。長崎大会、大変有意義な3日間でした。

(このはな支部 林道子)



閉会総会での北川つささん



聴診器で心臓の音をききました

7月29日宮崎医療生協本部で、健康づくり委員会主催「夏休み子ども企画」を開催しました。参加した6名の児童と12名の保護者・ボランティアの組合員さんは、まず上野満先生(宮崎生協病院小児科医)から「人の体のしくみ」について元気な話しをわかりやすく、おもしろく説明がありました。そして聴診器を使って友だち同志、お互いの心臓の音を聴き合いました。



検査機械に興味津々

最後は生協病院の検査室やレントゲン室の見学。検査室では技師からの色々な検査器械の説明に興味を持ち、レントゲン室では実際のCTの画像を見て体の中の様子が感動していました。感想では「楽しかった」「勉強になりました」「夏休みの自由研究に役立ちました」などの声を聞きました。8月19日は旧赤江飛行場(現、宮崎空港)近くにあり特攻慰霊碑や掩体壕などを見学し、組合員さんから平和について学びました。(組織部)

夏休み子ども企画「子どもの保健学校」を開催

東北支部では8月8日(土)、「第二回」子どもの保健学校を開催しました。参加者は、小学1年生3名を含む6年生までの11名。内容は、宮崎生協病院研修医の上山典子先生による「からだのしくみ」について。スクリーンに映し出されたそれぞれの臓器について、その位置やはたらきをやさしく丁寧に説明していただきましたが、子どもたちの目はスクリーンに釘づけされていました。



受講終了証をもらいました

今年の子どもの気持は大変元気な声かけが終わるが、終わらないうちは「ハイハイハイ」と身を乗り出し、あまりの威勢の良さに先生も誰に当てるよつかと迷われ

証をもらって喜んでいました。先生が到着されるまでの前段の時間をつかって生協クリニックの図学をしました。クリニックでは心電図の図学と心臓の音、お腹の音など聴診器を当てて聴き合いました。最後に医療生協の子ども保健学校の計画に、毎年ご協力いただいている地元惣領町の子供会の役員の方々に心から感謝します。(東北支部 茄子田和哉)

宮崎生協病院「夏の学生企画」

医師を目指す高校生と一緒に健康チェック

7月24日から夏の高校生企画「地域医療体験」がスタートしました。これは、医学科を目指す高校2年生を対象に、医療生協の班会やクリニックの往診、介護施設体験など地域に根ざした活動を体験する企画です。今年は7校から25名の申し込みがありました。7月27日は宮崎西高から6名が参加。北2支部の班会と大塚・江南支部の公民館健康チェックに参加しました。組合員さんは、医師を目指す高校生を暖かく迎え健康チェックを優しく指導して



高岡交流プラザでの健康チェック



北2支部長室班会議

くれしました。「地域医療へき地医療」をイメージしていた高校生の皆さんにとって、医療生協の班会・健康チェックの活動はとて新鮮に映ったようです。(病院実習 実行委員会 花田翔太)

☆学生の感想☆

◇私たちが将来医師を目指す上で、どのように地域の方々に医療を提供し元気で過ごしていただくか、これからの高齢化社会では深く考えなければいけないということを改めて実感しました。



参加者同士での血圧測定



足浴実習

宮崎生協病院では毎年、看護師を目指している高校生を対象に「高校生看護師1日体験」を5月・9月、計10回開催しています。今年は180名を超える学生から参加を申し込みました。中でも男子学生の参加が年々増えているのが特徴です。学生さんたちはまず白衣に着替え、目指している職業の服とあつてみなさん嬉しそうな表情で写真を撮っています。生協病院でも体験終了後には白衣姿の記念写真をプレゼント。体験内容は病院の紹介と案内か

(看護学生委員会 森木友香)

2015年8月度理事会の報告

<審議・決定事項>

- ①7月度の組合員活動概要と各種委員会の取り組みについて報告がありました。7月の組合員増やしは101名(目標120名)と目標を下回りましたが、出資金増資は389万円(目標362万円)と目標を上回りました。支部長会議、組合員理事協議会の報告、「笑う班会」講師養成講座、共同組織委員長会議、第2回めたかの学校などについて報告がありました。
- ②平和と社会保障を守る取り組みについて提案があり、安保法制、川内原発再稼働などの報告があり意見交換を行いました。また「戦争法案」に反対する宮崎連絡会からの「集団的自衛権行使に反対し、戦争をさせない、戦争法案に反対するテレビCM・意見広告」への協力についての提案もありました。
- ③6月度の経営概況について報告がありました。6月の法人の経常利益は607.3万円と予算(466.5万円)、昨年実績(96.1万円)を上回りました。あわせて第一四半期経営対策事業所の経営状況について報告があり意見交換を行いました。
- ④日本医療福祉生協連からの会員規約「年末事業高0.1%の出資要請基準に基づく出資金増資要請のお願い」を受け、現在の240万円から60万円増資し300万円とする提案がありました。
- ⑤助け合い事業の一環としての斡旋事業について提案がありました。今後支部長会議で審議、合意を得てから契約を行うこととします。
- ⑥院所利用委員会の規則について提案がありました。
- ⑦和田監事、川崎監事、岩切監事より本部監査の報告を受けました。大田原専務理事より監査報告を受けて今後の対応策について回答がありました。

<報告・承認事項>

- ①7月度事業所活動について報告・承認しました。
- ②7月度医療安全管理委員会について報告・承認しました。
- ③7月度宮崎生協病院利用委員会について報告・承認しました。
- ④7月度県連学習教育委員会について報告・承認しました。
- ⑤7月度県連介護事業所責任者会議について報告・承認しました。
- ⑥7月度経営協議会について報告・承認しました。
- ⑦第26期1、2回常務理事会について報告・承認しました。
- ⑧宮崎県民医連第2回理事会について報告・承認しました。
- ⑨宮崎県社保協第3回幹事会
- ⑩人事について
- ⑪2015年度日本医療福祉生協連の会費の改定について
- ⑫定款の変更について(県の認可)
- ⑬「有料老人ホーム設置届」の受理について

今、宮崎医療生協は

2015年7月現在

■ 新規加入者	101名(7/1~7/31)	■ 総組合員数	48,812名
■ 出資金	5億5,251万円	■ 平均出資金	11,319円
■ 班数	366班	■ 「おげんきですか」手配り配布数	19,958部

みんなの声

- ・戦争終戦を体験した私には「体温計」は分かりやすく大変勉強になりました。(宮崎市Oさん女性)
- ・7月号の体温計を見ました。全く自民党の横暴ぶりに腹が立ちます。何とか戦争法案を廃案にしましょう。(宮崎市Nさん男性)

虹の声 宮崎生協病院虹の意見箱 8月度宮崎生協病院利用委員会

●いつもお世話になっています。HCU(ハイケアユニット)の看護師さんが、どんな質問にもとても丁寧に答えてくださるので安心してます。ありがとうございます。談話室のクーラーが24度になっていて寒いです。

※お褒めの言葉ありがとうございます。今後ますます接遇の向上に努めて参ります。空調につきましては、夏場の温度設定を28度(省エネ対策も含めて)にしておりますので、職員に周知を行います。なお、空調の温度についてのご要望は、お近くの職員へお声かけして頂ければ、迅速に対応させていただきます。



おげんき仲間へ配布協力員紹介

井上末美さん(あおき支部・吉村町北中)は医療生協あおき支部発足時から支部運営委員を務められていました。「医療生協あるこう会」やアラウンドゴルフで頑張っていました。ご主人の不幸や大病を患われるなど運命委員を辞められ、健康回復に専念されました。健康になられたからは、高齢者クラブの婦人部長や市さんさんクラブの理事として、忙しい日々を過ごされています。その中で、地域会員の健康づくり活動や「おげんきですか」の配布を元気に配られています。あおき支部の「みんなの知恵と力」でたのしい支部活動を支えている大きな力になってもらっています。

「おげんきですか」文芸欄

・若者は楽器を使い訴える
・菜園の胡瓜は日々太りけり
明日はらぎるか明日日にするか
弓削 敏
・小二児の慰問の手紙に書かれあり
「わるいしなへいみなごらす」と
七歳の児童もすでに学びあり
中国蔑視敵愾心を
福田 鉄文